

同窓会報

No.74

編集発行

三重県立
四日市高等学校
同窓会

四日市市茂福65
TEL <059> 365-3631

印刷

関東海フォトデザインシステム



新任のご挨拶

第五代同窓会長 伊藤 勲作
(四高35年度卒)

同窓会の皆様方には日頃同窓会の運営に格別のご理解とご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて私は平成28年6月4日に開催されました四高同窓会平成28年度総会に於いて四日市高等学校同窓会長を拝命し前会長の熊澤誠一郎先輩から引き継ぎを致しました伊藤勲作と申します。

中立富田中学校出身で在学中は吹奏楽部に所属し、部担当の森先生指導の下、小さい頃から憧れのトランペットを一生懸命練習し吹奏楽に熱中していましたが、それが高じて卒業後、大

学でジャズのフルバンドに所属し4年間トランペットを吹いて全国を演奏旅行した思い出があります。

この度の総会で新たに選任されました私を始めとする役員一同は皆様方のご協力の下、微力ではございますが同窓会の運営に万全を期してまいり所存でございますので今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、学校の様子をお知らせします。昨年度の進路状況は、現役既卒者合わせて、国公立大学に236名、難関大学合格者は101名、医学部医学科には17名が合格しました。医学部医学科への志願者が年々増加していますが、社会に貢献したいと

を達成しておられますことは同窓生にとつて誠に誇らしく、心強く思う次第であります。

また建学以来5万人近い卒業生を世に送り出し同窓生の皆様各界で活躍され、或いは偉業を世に送り出し同窓生の皆様各界で活躍され、或いは偉業

を達成しておられますことは同窓生にとつて誠に誇らしく、心強く思う次第であります。

また建学以来5万人近い卒業生を世に送り出し同窓生の皆様各界で活躍され、或いは偉業

また建学以来5万人近い卒業生を世に送り出し同窓生の皆様各界で活躍され、或いは偉業

また建学以来5万人近い卒業生を世に送り出し同窓生の皆様各界で活躍され、或いは偉業



ご挨拶

学校長 和田 欣子

同窓会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育の充実発展のため、多大なるご支援やご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

私は、本校での勤務は、15年ぶり、3度目となります。創立117年を迎える伝統ある四日市高校で、校長として勤務させていただく責任の重さを感じております。教職員一同、質実剛健・文武両道の校是のもと、生徒同士がより高みを目指して切磋琢磨する学校環境を創り出せるよう、誠実に、精一杯努めま

いたすので、どうぞよろしくお願いたします。

また、3年目に入ったスパー・グローバル・ハイスクール事業では、論文作成、SGH講演会、海外研修、グローバルリーダー学の授業などが軌道に乗りました。今年度の中間評価の結果や高大接続改革の動向も見据えつつ、課題探究型授業の充実、英語力の向上など、更に内容の充実を図っていきたくと考えています。

四高同窓会のみならずのご発展を祈念いたしますとともに、今後とも本校へのご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

四高同窓会のみならずのご発展を祈念いたしますとともに、今後とも本校へのご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

四高同窓会のみならずのご発展を祈念いたしますとともに、今後とも本校へのご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

〈平成29年度総会のご案内〉

平成29年度総会を下記の通り開催いたします。会員の皆様におかれましては、お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

○日時
平成29年6月3日(土)
13時30分受付/14時00分開会

○場所
四日市市総合会館8階 視聴覚室

○記念講演(総会後)

〈講師〉
日本環境衛生センター理事長
東京経済大学経済学部客員教授
早稲田大学理工学術院客員教授
(元環境省事務次官)

南川 秀樹 氏 (四高42年度卒)

〈演題〉

「環境保全にかかる世界と日本の動き
—地球温暖化、自然保護、廃棄物・
リサイクル、2011. 3.11以降の動き—」

終了後 ・抽選会のあと記念撮影
・喫茶室にてティー・パーティー
(無料)

※講演につきましては、一般に公開しております。お知り合いで、ご興味のあります方には、ご案内下さい。



会費納入のお願い

同窓会の事業はすべて会費により運営されています。会報の送付なども、財政上の理由から会費を納めた方だけに限定させていただいております。納入がまだお済みでない場合には、是非お早めにお願ひ申し上げます。

◆納入金額
終身会費 20,000円
毎年納入の場合 年会費 1,000円

◆納入方法

①郵便振替
口座番号 00820-8-6367
三重県立四日市高校同窓会
※専用の振込用紙がありますのでご連絡下されば送付いたします。

②現金書留
会館迄ご送金下さい。
《お問い合わせは同窓会館まで》
TEL・FAX 059-365-3631
Eメール sikoukai@m2.cty-net.ne.jp
http://www.pcs.ne.jp/~shiko/



年代を超えて、母校の思い出を共有できるものがある。とすれば、それは十四川の桜並木にちがいない。本会報の「人物往来」でも多くの同窓生が触れている。一年にわずかに一週間ほどの開花期間にすぎないがその印象にはよほど鮮烈なものがあるのだらう。人や校舎は変わったけれど、十四川と桜並木は今も母校の横にある。この不変性がありがたい▼現在六〇〇本ありというソメイヨシノの維持管理を継続的に行っていくのは、並大抵のことではあるまい。そんな桜並木の保存に対して、数年前から四高会より協力を支出している。決して高額ではないが、地元の方々の熱意に少しでも報いることができればと考えることである。一般財団法人として求められている地域貢献の一環でもある。▼同窓会館が桜並木に至近であることからできる協力もある。桜まつりが近づくと、実行委員会によってホームページが開設されて、開花状況をリアルタイムで見ることができるようになる。このビデオカメラの設置場所が会館の二階であることは、あまり知られていないだらう。▼ところで、桜並木の由来をご存じだらうか。十四川沿いに建つ石碑に刻まれているのをお読みください。ある。地元の人々は先刻承知のことだらうが、現在のアマカン株式会社法人化したのを記念して植樹したのが発祥とされている。大正一四年のことだ。▼アマカンといえば、言わずと知れた伊藤勲作氏。同窓会新会長である。巡りあわせというか、運命的なものを感じるの筆者だけだらうか。

(青山)



受付風景



資料を見る出席者



講師・熊沢氏



四高昭和30年度以降



富中・四女・四高昭和29年度以前

平成28年度 四日市高校同窓会総会報告

記念講演 熊沢 誠氏（四高31年度卒） 「若者の労働状況」

平成28年6月4日
四日市市総合会館
8階 視聴覚室

平成28年度総会は70名の出席を得て、6月4日（土）四日市総合会館にて開催されました。冒頭、熊澤誠一郎会長による、117年の歴史を誇る母校在校生をバックアップすることを約束、益々の活躍を祈るとのご挨拶をいただき、追って本校初の女性校長である和田校長からは、四日市から世界へ羽ばたく人材、地球規模の視野と意思を持つ生徒の育成を目指しての指導を行っている母校の教育の在り方をご説明いただきました。

その後西脇副会長の司会の下、上野常任理事を議長に議事審議が行われました。続いて四高31年度卒業であられる熊沢誠氏による記念講演を拝聴し、記念撮影・ティーパーティーと、会は滞りなく進行いたしました。

議事

- 第1号議案 平成27年度事業報告
- 第2号議案 平成27年度収支決算
- 第3号議案 平成28年度事業計画
- 第4号議案 平成28年度予算
- 第5号議案 役員改選

以上について審議、承認の運びとなりました。

記念講演

副会長坂倉氏よりのご紹介を受け、労働問題のエキスパートでいらつしやる甲南大学名誉教授の熊沢誠氏（四高31年度卒）が、「若者の労働状況」と題した講演を行って下さいました。現在の若者の厳しい現実を多く例示していただいたのち、この現状を打破するためには若者の働く意欲を産み出すための手立てが必要であること、また労働についてしっかりした知識を持つことが肝要であることをお教えくださいました。

改めまして人権重視の条件のもとでの労働の必要性を感じ、未来のためにも我々も若者の労働状況に深い関心を持たねばならないことを気付かせていただきました。

一般財団法人四高会 平成27年度 収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：円			
科目	摘要	決算額	予算額
I. 収入の部			
① 事業収益	会館使用料	51,000	50,000
② 受取寄付金	同窓会より	2,400,000	2,400,000
③ 雑収益	受取利息等	1,327	1,000
合計		2,452,327	2,451,000
II. 支出の部			
① 事業費・管理費		1,305,315	2,350,000
会議費	会議等	45,080	60,000
講演開催費	講演会	109,580	250,000
地元協力費	十四川の桜管理	50,000	50,000
消耗品費	コピー機、事務諸経費	148,132	150,000
修繕費	会館修繕費	0	700,000
光熱水料費	電気、水道、ガス	401,651	420,000
保険料	火災保険料	23,510	25,000
租税公課	県税、市税、固定資産税、源泉税等	425,627	430,000
清掃費	環境整備等	82,793	150,000
支払負担金	商工会議所	14,000	14,000
雑費	証明書発行等	4,942	101,000
② 投資活動		700,000	0
修繕引当資産取得	会館修繕目的	700,000	0
② 予備費		0	20,000
合計		2,005,315	2,370,000
III. 当年度収支差額		447,012	81,000
IV. 前年度繰越金額		1,171,269	1,171,269
V. 次年度繰越金額		1,618,281	1,252,269

百五銀行富田駅前支店普通預金 単位：円	
次年度繰越収支差額	1,618,281
修繕引当資産	700,000
当年度末預金残高	2,318,281

四日市高校同窓会 平成27年度 収支決算書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

単位：円				
【収入の部】		【支出の部】		
項目	細目	摘要	決算額	予算額
【収入の部】				
① 同窓会収入	入会金	全日制 1,800円×1,066人	9,208,800	9,144,000
	同窓会費	終身(20000) 356	7,120,000	1,944,000
		10年(10000) 0	0	
		5年(5000) 1	5,000	
		3年(3000) 2	6,000	
		2年(2000) 0	0	
		1年(1000) 159	159,000	
		利子、その他		
② 雑収益			7,290,000	7,200,000
③ 前期繰越金			51,956	26,629
合計			379,371	379,371
合計			9,640,127	9,550,000
【支出の部】				
① 運営費	給事通	与務信	給料、手当	1,393,342
			印刷、事務用品等	1,174,000
			電話、郵便、インターネット関連費など	93,295
				126,047
② 会議費	総務常任理事会	会費、懇親会費、案内状	189,930	350,000
		会場費、会議費、案内状	127,023	200,000
		会場費	55,707	100,000
		雑費	7,200	50,000
③ 事業費	会報クラブ活動助成金	会報印刷及び発送費	1,904,189	2,000,000
		励励金・語学研修補助など	904,192	1,000,000
		(一財)四高会への寄付金	999,997	1,000,000
④ 四高会拠出金			2,400,000	2,400,000
⑤ 積立金			3,200,000	3,200,000
⑥ 予備費		供花	11,448	100,000
合計			9,098,909	9,550,000

百五銀行富田駅前支店普通預金 単位：円	
平成27年度収入	9,640,127
平成27年度支出	9,098,909
次年度繰越金	541,218
平成27年度卒業生 同窓会費預り金	5,582,000
今年度末	6,123,218

特別会計積立金(百五銀行富田駅前支店定期預金) 単位：円	
前年度末	44,888,726
今年度積立金	3,200,000
利子	9,519
今年度末	48,098,245

新役員

(役員)

会長 伊藤 勘作 (四高35)

(常任理事)

山本 将子 (四高25)

副会長 西脇 壽郎 (四高32)

平成28年3月ご逝去 (富中45回卒)

坂倉加代子 (四高32)

服部 幸男 (四高27)

島田 豊氏

中島 泰浩 (四高36)

服部八州宏 (四高30)

藤原和夫氏

杉本 雅俊 (四高42)

北川 利美 (四高31)

藤原和夫氏

種橋 潤治 (四高43)

小津 博嗣 (四高33)

藤原和夫氏

青山 晶 (四高45)

八木 統治 (四高34)

藤原和夫氏

藤原 和彦 (四高54)

上野 公雄 (四高35)

藤原和夫氏

山口 雅弘 (四高40)

金子 和生 (四高37)

藤原和夫氏

岡田 卓也 (富中40)

長谷川正統 (四高38)

藤原和夫氏

小菅 弘正 (富中42)

山下久三造 (四高39)

藤原和夫氏

森田三重子 (四女42)

伊藤 利造 (四高45)

藤原和夫氏

鈴木田俊二 (四高28)

田中 真司 (四高47)

藤原和夫氏

熊澤誠一郎 (四高29)

井村 正史 (四高48)

藤原和夫氏

和田 欣子 (四高47)

伊藤 重和 (四高50)

藤原和夫氏

富田 常豊 (四高42)

森 公平 (四高51)

藤原和夫氏

小林 典子 (四高51)

黒木 誠 (四高55)

藤原和夫氏

佐久間 基 (四高10)

名越 一大 (通信)

藤原和夫氏

大森 智之 (四高62)

藤原和夫氏

奈須 庄平 (四高37)

藤原和夫氏

森 智 (四高55)

藤原和夫氏

長く同窓会活動にご奮励くださっている熊澤誠一郎氏は平成12年～27年まで15年の間、会長として会を牽引していただきましたが、この度ご勇退、今後は顧問として会の運営発展を見守っていただきます。

その広い視野に基づくお言葉は常に暖かで、会員から慕われ、また後輩たちには的確なご指導をくださいました。

今後ともよろしくお願いたします。



同級生より花束を贈られる熊澤氏

お悼み

島田 豊氏

平成28年3月ご逝去 (富中45回卒)



島田氏は永きにわたり会計として会の経理を担当され、運営の要として活動なさいました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

藤原和夫氏

平成29年1月ご逝去 (富中46回卒)



藤原氏は副会長として会の発展にご尽力くださり、退任なさった後も温かく見守り続けてくださいました。安らかに眠りください。

近藤和也氏

平成28年3月ご逝去



先生は平成8年度～11年度までの3年間、母校校長として四日市高校生をお導きくださいました。ここに哀悼の意を表します。

平成28年度会費納入者

(敬称略)

○終身会費(2万円)

- 阿部美月、阿部萌、飯村将輝、伊出比呂志、上田津希乃、江崎麻美、奥根太郎、加藤舞、小島佳子、谷口詩野、長橋菜子、二之湯萌香、長谷川咲紀、林陽里、藤田茉佑、松本野乃、水谷健人、水谷菜奈、南こずえ、森健二郎、森脇瑞希、柳川大智、山口真依、山本航大、若杉美佳、石崎彩淑、伊藤慎二、稲垣伽穂、井原相季、大島優華、太田美咲、大橋遼也、春日井遥花、片岡奎太、片岡光稀、加藤沙季、鳥谷拓真、川島彩、河村和正、小西玄起、澤井耀平、飾磨太郎、瀬古嵩、相馬希美、谷上哲也、豊田竜ノ介、中山大輔、丹羽遥香、長谷川悠太、堀内淳司、松田恵里奈、水谷梨里衣、水野剛志、三本鈴、山北真央、吉本桃子、依藤菜那美、渡部拓光、佐藤まりん、寺坂麻結美、服部明日香、林亜里沙、廣瀬周作、藤井泉、村山麻衣、矢野真依子、石川多聞、伊藤可捺汰、小川晃一朗、黒田拓海、齋藤俊介、陣田亮哉、田中悠雅、谷口慶悟、寺本一貴、生川峰寛、新山裕司、丹羽一希、長谷川朝美、長谷田雅也、逸見大湖、細見奎輔、堀田悠介、松本紗弥、三島大雅、水谷風太、山岸航大、山田祐樹、渡辺萌奈美、石川千裕、磯谷星佳、伊藤菜摘、井村晴美、遠藤真理子、奥岡奈宜、垣内麻友子、桐生怜治、柳部七海、小林稜、佐伯南々子、下倉由優也、鈴木康平、鈴木遼、瀬川紗帆、高澤郁也、高橋吉彦、竹中研人、竹村明夏、竹村まどか、田中海気、玉木雅也、出野由菜、土井瑠奈、長野真帆、坂凜太郎、藤井康太、松竹航、水谷菜々子、渡邊詩織、伊藤麟、岩井依美、太田州音、加藤大賀、岸本昌和、喜田恵利花、倉橋宏輔、栗山琴羽、小林大輝、近藤壮志、坂田絵里沙、佐藤雄太郎、白澤拓磨、大同美瑠、高橋幸希、田中穂乃香、谷口晃平、出口崇大、内藤実柚、中川健太郎、中村綾花、中森麗乃、丹羽英人、花井貴紀、水谷瑳那、道藤翼、宮崎紗佑里、宮田祐希、森山栗乃介、山本結衣、渡辺美紅、井岡未優、稲垣龍誠、北澤沙英、北島健太郎、近藤暖、坂井風飛、佐藤海誓、神保智久、住吉沙月、中園貴大、中山大輔、南部慎、西脇香菜子、服部悠真、樋口旭、廣瀬太郎、古川恵里奈、茂木美歩、矢田時羽、八谷一慶、山村宗生、赤羽諒太、秋田晴子、伊藤菜生人、稲吉香城、井上朋井、上陽登、位田瑞実、上村幸意、内田貫太、春日夢乃、加藤大貴、黒川貴矢、近藤颯人、坂下諒、佐藤穂奈実、芝山祐依、嶋崎望美、下田航大、白木日和、城田奈々帆、大同裕貴、高橋大樹、田中雄也、中尾紗央里、中川匠、中西健太、名和武志、林裕生、平田光明、前川真優、前田佳樹、松井実紅、水谷美海、水野菜生子、南川洋、森田裕野、山路敦士、山本泰地、渡邊莉野、磯村俊也、井分彩乃、宇佐美岳良、大高航、大塚日花里、岡部太貴、奥山美咲、影山優輔、荻谷望未、川居静花、川北健人、清原勢至、楠浩杜、小池菜穂、小泉周大、小林亜美、小林滯生、齋藤里香穂、清水大雅、鈴木梨乃、妹尾宏紀、田畑望実、土田康平、土

- 洞春菜、寺倉友一、中曾根春菜、中村史香、西村武謙、野口宗孝、畑田大毅、服部大介、服部友香、平松佑規、古市彩、細川智哉、水谷和暉、森川大地、横山優一郎、吉田紋華、磯田雅、内山幸奈、大平真央、片山友香、加藤沙樹、窪順平、清水麻衣、辻野栞、寺田早織、前川和弘、松岡篤志、宮下皓多、森川紗生、森崎翔介、石川諒、板倉京平、寛玲央、門永知峰、冠野仁志、久保田裕介、坂下初音、清水優一、田端基志、田村夏希、中島優斗、古谷登、村田知樹、山田健太、吉岡拓哉、和田直也、寺田理絵、隠岐恵美子、喜種正昭、加藤和彦、笠浩一朗、服田尚史

(平成29年1月現在)

○年会費(1千円) 136名

会員の皆様、誠にありがとうございました。

会館だより

・28年5月、四女46回卒大塚久子様ご遺族様より3万円、28年5月、四高H9年度卒村田紘未様より2万円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

・28年4月に発生した熊本地震に寄せて総会で義援金を募り、会として中日新聞を通じて3万円おくりました。

系往人物



贈る言葉

天野 昭二
(富中45回卒)

孫の一人が、人生の壁、社会の壁にぶち当たり、悩んでいると聞き、何か支えになれないかと真剣に考えた。

米寿に近い人生の中で、数多くの言葉、名言、格言に出遭ってきた。

色々な場面で、最も実感の強かった言葉、最も共感の多かった名言の中から、「贈る言葉」を三つ選んだ。

第一は「生涯学習」である。

「最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが生き残るのでもない。唯一生き残ることが出来るのは変化できる者である。」との名言である。硬直的な人ではなく、柔軟な考えの持ち主になって欲しい。

生涯にわたり、自主的に学び続け、選んだ道を究めると共に、視野の広い人になって欲しい。

第二はケネディ大統領の「国があなたのために何をしてくれらるかを問うのではなく、あなたが国のために何を成すことが出来るのかを問うて欲しい。」との名言である。

あなたの職業が、ビジネスマンであれば文中の「国」を「会社」と読み替えて欲しい。そし



座右の銘

樋口 まさ子
(四女45回卒)

「上見れば果しもあらぬ世の中に吾程もなき人もこそあれ」

これは今から68年余り前、四日市高女45回生として卒業式を迎えた折に、当時の伊達貫一郎校長先生からお話を頂いたはなむけの言葉です。私はこの言葉を座右の銘として居ます。

振り返ってみると、その頃は余り気にも止めなかつたのですが、家庭に入り、いろいろの事に遭遇した折にふつとその言葉が蘇り、その重みをしみじみと思ひ、幾度となしに慰めの言葉として来ました。そのお蔭で苦難も無事に乗り越える事が出来、感謝の日々を送って居ます。時々悩みがあつて相談にみえる方が居られますがそんな時、相手のお話をよく聞きとって、

通信親睦バス旅行

名越 一大
(通信制63年度卒)



伊勢志摩サミット終了後の昨年6月5日、1年ぶりの通信制親睦バス旅行がスタートしました。今回のバス旅行は、前月開かれたサミット会場を巡る目的も兼ねての旅です。

毎年この旅行は梅雨時期の6月第1日曜日に開催しているのが天候が大変心配でしたが、心配も無駄に終わり天候に恵まれました。

途中の伊勢道は日曜日にしては、若干交通量が少ないような気がしました。バスは順調に目的地を目指し、1年ぶりの再会にバスの中はあちこちで大いに会話が盛り上がっていました。

メンパーは在学中お世話になりました先生方をはじめ、卒業年度も異なる皆さんで、総勢34名の参加を頂きました。最初の目的地は、各国首脳の記念撮影の地である横山展望台で、大変期待していました。それなのに時間の関係上駐車場まで小休止するに留まり、理由は英虞湾クルーズ船の予約時間に間に合わないからだとのことでしたが、とても残念でした。

英虞湾クルーズは、小学生の頃、鳥羽で乗船して以来2度目。私自身も伊達校長先生との出会いを幸せと思ひ、「座右の銘」と併せて不思議な縁を改めて感じて居ます。86歳を迎えた今、これからもこの銘を心の支えに、元気に過ごして行けたらと思つて居ます。



の体験で、少しばかり昔の出来事を思い出しながらクルージングを楽しみました。昼食は大変楽しみにしていましたが、伊勢志摩といえば海鮮料理はとつても美味しいことで有名ですから、どんな料理が用意されているかと楽しみ一杯でした。期待を上回る新鮮な刺身、焼き魚、ホタテ料理等に、舌鼓を打ちながら和やかにいただきました。

だ時間経過していかないこともあり、アリーナの駐車場、志摩ホテル出入り口などに、未だ会議の足跡が多く見受けられたことでした。とても貴重な体験ができたと思います。帰りの車中は、毎回恒例になっているビンゴゲーム大会で盛り上がりました。参加者全員が上がるまでには40〜50分程掛かります。毎回のことですが、リイチからビンゴ成立までの時間が一番ピークです。自分のリイチ番号を連呼する人も現れるほどの盛り上がりを見せました。



通信親睦旅行は、平成15年に始まり14回を超えました。今後、楽しみにしている同窓の友のために末永く続行して行きたいと思ひます。



関東四高会 (東京四高会) を復活

有村 満
(四高53年度卒)

「伊勢高校や四日市南高校では東京で同窓会を開催しているらしい」「昔、東京四高会という同窓会があったが今は無くなったようだ」「関東地方で同窓会ができないものか」こういう思いから関東四高会を立ち上げました。

SNSを中心にした、四日市に縁のある人の集まりで「四の会」というものがあります。同級生に誘われて参加した時(平成26年5月)、佐久間祐幸君(平成8年度卒)と隣同士の席になり、お酒の力もあって、すぐに意気投合し関東四高会の立ち上



げ、幹事長就任を了解いただきました。

第1回目は平成26年12月に17名の参加でスタートし毎回参加人数は増え、昨年12月の第5回には47名となりました。上は昭和34年度から下は平成14年度卒まで、東京での開催ですが、遠くは仙台・神戸からの参加者も

おり、同窓生のミュージシャンのライブや校歌・応援歌の斉唱、また東京の日本橋で四日市弁が飛び交うという大変賑やかな会となりました。また、立派な横断幕を有志お二人より寄贈頂き形は整いました。



なお、次回第6回目は7月1日に開催予定です。まだまだ参加される学年に偏りはありますが、甲子園優勝時をご存知の方から現役の大学生まで幅広い世代の方の参加をお待ちしております。



「同窓」に感じ入ること

倉田 文美
(四高51年度卒)

平成25年の春、初めての校長職として富田小学校勤務を拝命しました。不安な気持ちがあつたものの、富田小学校は、高校時代を過ごした母校から近鉄線路を隔ててすぐの小学校です。富田小学校に勤務の経験はなかったものの何となく親しみを感じていた学校でした。

着任したときは、十四川の桜が満開で、高校時代ここをランニングしたことが思い出されました。校区内を回っていると、「合宿の時にこのあたりで朝食や夕食を食べた」とか、「ここにかつてあつた銭湯にみんなで行った」とか懐かしい思いでいっぱいになりました。しばらくして、偶然にも富田小学校の西門あたりで同窓会館に向かわれる、2年間も担任していたいただいた恩師である鈴木田先生にお会いすることができました。すぐに、同級生の小林さんと一緒に富小に訪問いただきました。さらに、当時の富田中学校校長阿部君、四日市高校教頭辻君が51年度卒の同級生であることがわかり、富田地区の小・中・高の管理職に同級生が揃つたという、不思議な縁にびっくりするやらうれしいやら。

「同窓」というだけで、近しさを感じ、また感じていただけ、話も弾むのは、不思議なものです。昨年の4月に、浜田小に異動しましたが、富田小にいるときも浜田小に行つてからも、またこれまでも、多くの四日市高校の先輩、同級生、後輩に助けられています。同窓の有難さをつくづく感じ、大切にしていきたいと思つていきます。



北の国から

後藤 允
(四高H8年度卒)

今年の札幌はよく雪が降ります。なんでも50年ぶりの大雪で、飛行機は欠航、電車は運休、道路は大渋滞。札幌へ移り住んで8年目、もちろん初めての経験です。今年の3月で母校を卒業して20年になります。この節目に寄稿のお話をいただいたのも、なにかの縁でしょうか。

在学中の思い出は部活動、これに尽きます。文武両道の伝統に倣い、勉強はもちろん、部活動にも全力で打ち込みました。苦楽を共にしたサッカー部の仲間とは20年間、今も変わらぬ関

係を続けています。もうひとつは、3年次のいわゆる「男クラ」です。体育祭で「混クラ」には絶対に負けたくない、異様な団結力で優勝したことを思い出します。ただし、同窓会となると話は別で、2年次のクラスで女子と一緒に開催しています。

卒業後は東京の大学に進学し、花の都で学生生活を謳歌しました。上京当時は、四日市とはまるで違う大都会に胸をときめかせたものです。その後は大学に残って研究者の道を志しました。出身大学の助手を経て、

現在の大学に赴任し、札幌生活がスタートしたというわけですね。赴任時期が10月だったため、すぐに雪国生活になり、本州が恋しくなりましたが、住めば都、美味しい食べ物、涼しい夏、豊かな自然。辛いのは四日市への帰省が大変になったことでしょうか。母校へは毎夏にOB戦でお邪魔していますが、実は一昨年度に、大学の入試関係の仕事で訪問しています。その際はか説明会や模擬講義などで、現役学生と交流ができればと願っています。

我が家は祖母が女学校OG、弟も四高OBという筋金入りの四高家系です。これからと、繋がりが続けられればと思います。

リレー随想 〈第20回〉

国際化時代にあって思うこと



中垣清介（四高H10年度卒）

随分と速い時代になりました。走るのも速い。泳ぐのも速い。リニアも速い。しかし私が本当に速いと感じるものは、国際化の流れと科学技術の進歩です。

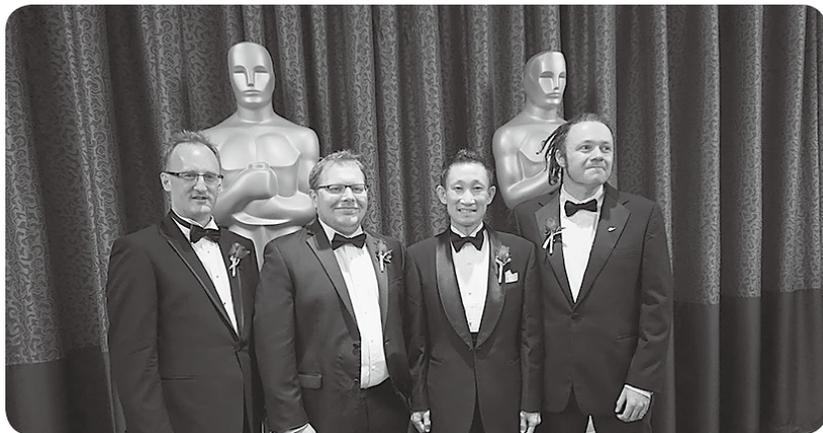
私は映像関係のソフトウェアの開発の仕事をしていて、現在は自宅から海外のソフトウェア会社の仕事を行っています。以前はニュージーランドに10年程住んでおり、現地の映画等の映像効果の製作を行う会社で仕事をしたりしていました。仕事柄、様々な国や地域の方とお話をする機会が多いのですが、近年の技術の発展のおかげで距離や国境を感じる事無く業務をこなす事ができるようになりました。本当に海外というものが身近な時代になったと実感しています。

様々な背景・価値観の人々と仕事をしていると、働き方をとっていても色々な違いが見えてきます。そのような中でコミュニケーションをとり仕事をこなし信頼を得る事ができたのは、日本で、三重県で、四日市で学んだ多くの事が活かされたからだと考えています。きっちりとした日課をこなす、責任を果たす、グループ内で助け合う、といった事は日本の社会の中で、地元の共同体の中で学び培う我々の大きな長所ではないでしょうか。

私は四日市高校に在籍していた当時、あまり良い生徒ではありませんでした。将来の事をあまり真剣に考えておらず、後に大きく時間を無駄にすることになりました。授業中によく居眠りに勤んでいた事を覚えています。それでも、熱意を持って授業にあたられる先生方、学業に部活動に邁進する友人、将来の夢に向けて努力する友人、創造的な遊びを生み出す友人達に受けた刺激が今の自分を形作る糧になっ

たと考えています。今でも同窓会等で、幅広い分野で活躍されている同級生や同窓生の興味深い話を聞くたびに多くの事を学びます。今の子ども達、若い人々には様々な事を経験し、将来の夢や自分の好きなことを見つけて社会へ飛び出し、地元で学んだ事を活かして、技術の進歩と国際化の著しい時代に羽ばたいて欲しいと思います。

余談ですが、様々な幸運が重なり、昨年2月に映画芸術科学アカデミー科学技術賞という賞を同僚と共に頂きました。ロサンゼルスで行われた授賞式は、私のような一介の技術者には場違いなとても華やかな雰囲気でも「おのぼりさん」の気分を味わってきました。ステージに上がった時の事は夢見心地でもあまり覚えていませんが、頂いた賞の榮譽に恥じる事が無いようにこれからも精進していきたいと思っています。



アカデミー賞授賞式



第8回 銀城親睦ゴルフ大会開催される

平成28年11月10日(木)、75名のご参加により四日市カンツリークラブで開催されました。

総合優勝は山下晃さん（S36年度卒）、女性の部優勝は川村智子さん(四女46回卒)でした。

なお、第9回大会は平成29年11月9日（木）四日市カンツリークラブでの開催を予定致しておりますので、これまでご参加いただいている皆様方をはじめ、女性ゴルファーの皆様、卒業年次の比較的新しいゴルファーの皆様、次回大会には是非共多数ご参加下さいますようお願い致します。また、皆様のご案内を申し上げます。



総合優勝の山下さんと伊藤会長



女性の部優勝の川村さん



和やかなパーティー会場風景

学園だより

今やらなければならないこと

将棋部2年 生 川 康太郎

ジュニアサミットに参加して

3年1組 藤山 春衣



私は、2016年4月に伊勢志摩主要国首脳会議の関連行事ジュニアサミットに日本を代表して参加しました。この体験を通して学んだことはたくさんありますが、ここではその中の2つについて記述したいと思います。

1つ目は、国際情勢に対して関心を持ったことです。私のグループでは世界の経済格差の解決策について議論しました。ジュニアサミット期間中会議をするのは3日間でしたが、初日はほかのメンバーの経済に対する関心度や知識の多さに圧倒され、ただ聞いているばかりでした。しかし、分からないことはすぐに誰かに聞いたり、インターネットで調べたりするうちに、今まで難しそうだからという理由だけで遠ざけてきた経済への抵抗感が薄れ、むしろ興味深いと感じるようになり、発言できるようになっていきました。ここで気づいたことは、関心がなければニュースを見ているも何も頭に入らず、頭に入って来なければそれに対する自分の主張が持てないのだということです。これから社会に出て行く私たちにとって、世界で何が起きているかを知り、それについての自分の考えを持つことは、1人の大人としてとても重要になると思います。私は、生活する中で、すこしでもニュースの様々な話題に耳を傾け、考える時間をとることを続けていきたいと思っています。

2つ目は、英語についてです。私は、今回の貴重な体験の中で、ツールとしての英語の素晴らしさを改めて実感しました。英語そのものというわけでは決してありません。もし、中国語が世界の共通言語であったならば、私は真っ先に中国語を学ぼうとしたでしょう。ジュニアサミットでは、バックグラウンドや文化、考え方も違うメンバーが集まり期間中一緒に生活しなければいけません。互いが衝突せず、議論を進められたのは、1人1人その違いを説明するツールを持っていたからです。英語は自分を相手に知ってもらうための道具であり、英語を通して互いに尊重し合える関係を築くことができます。私は、これからも英語学習に努め、自分や自国のことをよりわかりやすく表現できるようにしていきたいです。

私は今年、広島県で行われた全国高等学校総合文化祭将棋部門と福岡県で行われた全国高等学校将棋竜王戦等に出場することができました。そこではじめにこの二つの大会について振り返ってみようと思います。



まず、全国高等学校総合文化祭では予選途中で若干苦戦したところもありましたが4連勝することができ、予選通過を果たすことができました。しかし決勝トーナメントに入ると奇しくも1回戦で三重県代表同士の対決となり、がんばりましたが、残念ながら敗れてしまいました。

次に、後者では予選で飛車を金と打ち間違えてしまうなど普段では考えられないようなミスを犯したりもしましたが、幸いなんとか2連勝で予選突破できました。しかし翌日に行われた決勝トーナメントでは初戦こそ勝ったものの2回戦で今まで1度も大会で負けていない相手に敗れて、勝負の難しさを感じました。

こうして今年を振り返ってみますと、まったく思っていたようにはうまくいかなかったというのが私の感想です。うまくいかなかった原因は、やはり私の日頃の修行不足ということになるかもしれません。小学校の頃から将棋に取り組んできましたが、今は忙しい高校生活の中で、将棋だけに時間を割くというのは難しいというのが現実です。しかし大会で敗れてしまったことは逆に自分を変えるチャンスであるとして、より研鑽をつみ、新たなスタイルや価値観を身につけて、次回にはより良い結果を出していきたいと考えています。

今年是将棋界で2つの重大なことが起こった1年でした。まず、愛知県で史上最年少の14歳の中学生プロ棋士が誕生し、テレビでも取り上げられて大きな話題となりました。しかし反面、事実はありませんが、プロ棋士の対局に将棋ソフトが不正使用されたのではないかと残念なニュースも大きく報道されました。

「私はプロ棋士を目指すべきだったのだろうか？」今までそう自分に問い続けてきました。しかし現在、将棋ソフトの性能は大きく向上してプロ棋士の力をも凌駕しつつあります。さらに自分の近くに年少でプロ入りする強い棋士がいることも考えると、アマチュアで将棋を続けることにした自分の選択に少し確信が持てたような気がしています。学業にも力を注いでいくつもりですし、将棋だけに十分な時間をとることはできないので大きなことはできませんが、「これからも研究・研鑽を深めていきたい」として「強い相手に勝利していきたい」と今は思っています。

仲間の大切さ

3年2組 山北 紘也



私は四日市高校で素晴らしい先生、互いに高めあえる仲間に出会うことができ、充実した3年間を過ごすことができました。四日市高校で過ごした充実した時間が、私を人間的に成長させてくれたのだと、今実感しています。

四日市高校のハイレベルな日々の授業についていくのは大変でしたが、熱心な先生方や、いつも真剣に勉強に取り組む友達の姿から刺激を受け、集中して勉強に取り組むことができました。また、分からない問題を一緒に考えてくれたとき、仲間の存在の大切さを改めて感じました。

部活動でも仲間の大切さを実感しました。ハンドボール部に所属していた私は、つらい練習や試合等で思うようなプレーができず、投げやりになることもありました。私よりさらに努力している仲間の姿や、的確なアドバイスをくれる仲間があったことで、再び前向きになることができ、最後までやりきることができました。

また、私は1年生のときにスーパー・グローバル・ハイスクール事業の一環でインドネシアの高校生と交流しました。ホームステイ等大変有意義なプログラムで、海外の高校生との交流によって、私の世界観は広がり、積極的に話しかける大切さを学びました。そして、今でも連絡を取り合う関係を築くことができました。

この3年間の高校生活のあらゆる場面で私を支えてくれた友人、先生、家族に感謝をし、四日市高校での学びや仲間を大切にしたい、これからもさらなる成長ができるよう頑張りたいと思います。

編集後記

同窓会館へ通う途中、私は十四川の桜堤の季節の変化を愉しみます。冬枯れを経て固い桜の蕾が目立ち始めれば、校了と共に春が訪れます。
(小林)

同窓生交歓



四日市高校昭和27年度卒同年会（通称28会）が、四日市高校に図書一式（10万円分）を寄贈し、幹事代表が和田欣子校長に目録を贈呈、記念撮影をしました。恩師の太田定浩先生も同行しました。 H28.10.26（四日市高校 校長室）



第16回北海道富中・四高会 H28.7.1（札幌すすきの川基本店）



富中三八会 H28.4.11（四日市たまゆら）



四高51年度卒業生同窓会 H28.8.13（四日市都ホテル）



四高56年度卒業生同窓会 H28.8.13（四日市都ホテル）



星稜会（卓球部OB会） H28.4.9（たまゆら近鉄四日市店）



S39年度卒業3年5組クラス会 H28.12.18



森下杯（四高卓球部OB会卓球大会） H28.4.10（四日市・あさけプラザ）